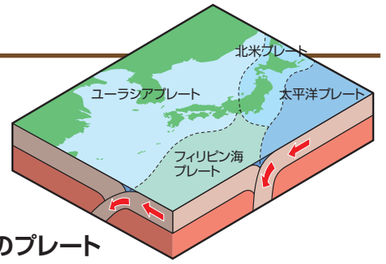
地震発生のしくみ

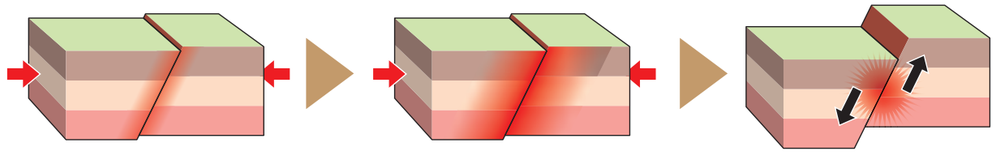
日本列島の周辺は、4 つのプレート（板状の堅い地殻）があり、年に数センチの速度で一定の方向に動いています。プレートの境目でのプレート同士の運動が地震を引き起こす原因です。日本では、主に以下の 2 種類の地震が起こっています。



日本周辺のプレート

内陸型地震

陸地の地殻もプレートの運動によりいたるところに「ずれ」が生じています。これらのずれは、いつかずれ動く可能性があり、「活断層」といわれています。この活断層のずれ動きが地震となります。



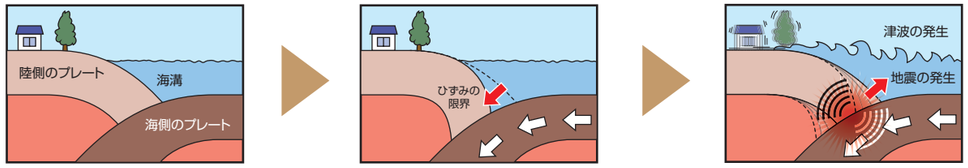
活断層をはさむ両側から圧縮する力が加わる。

活断層の部分にひずみが蓄積される。

ひずみが限界を超えた時、活断層の断層面を境に両側の岩盤にずれが生じ地震が発生する。

南海トラフ巨大地震

海洋側のプレートのもぐりこみにより大陸側のプレートが引きずりこまれ、境目にひずみがたまり、限界に達すると元に戻ろうとしてはね上がり、地震が発生します。



海洋プレートが陸の下へ沈み込みます。

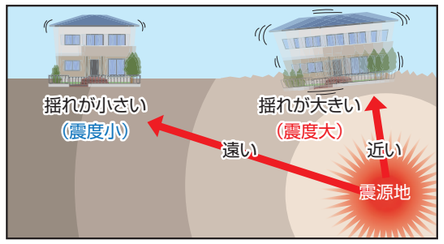
陸のプレートの先端部分がひきずり込まれ、ひずみが蓄積します。

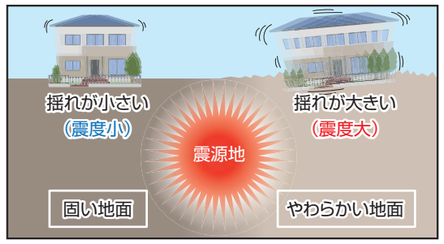
ひずみが限界に達し、陸のプレートの先端部分がはね上がって海溝型地震が発生します。

マグニチュードと震度

マグニチュード（M）…地震そのもののエネルギーの大きさを表す指標
震度…各場所での地震の揺れの大きさを表す指標
震度は、「マグニチュード」「震源からの距離」「地面の固さ」によって異なります。

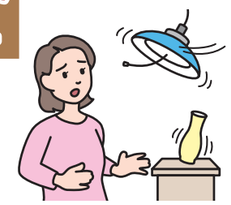
ちなみに…
阪神・淡路大震災…M7.3
東日本大震災…M9.0
熊本地震…M7.3





震度と想定される被害

震度 4



かなりの恐怖感があり、吊り下げ物は大きく揺れ、すわりの悪い置物が倒れる。電線が大きく揺れる。

震度 5弱

多くの人が身の安全を図ろうとする。書棚の本が落ちたり、家具が移動し、窓ガラスが割れ落ちることがある。耐震性の低い建物の壁や柱に破損や亀裂が走るものがある。

震度 5強

非常に危険を感じ、多くの人が行動に支障をきたす。棚の食器類、書棚の本が落ちることがある。テレビが落下し、タンス等の家具が倒れることがある。

震度 6弱

立っていることが困難になる。重い家具等が移動、転倒する。耐震性の低い木造建物では倒壊するものもある。

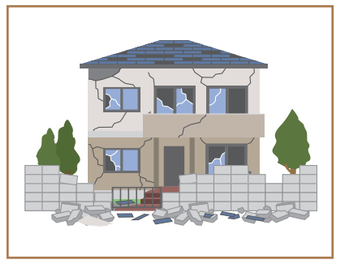
震度 6強

はわないと動くことができない。多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。耐震性の低い鉄筋コンクリートの建物では、倒壊するものがある。

震度 7

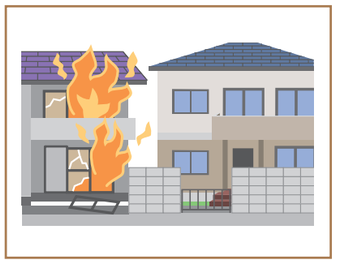
自分の意志で行動できない。耐震性の高い建物でも傾いたり破損するものがある。大きな地割れ、地すべり、山崩れ等が発生し、地形が変わることもある。

地震による被害



建物倒壊・家具転倒による被害

液状化による被害



出火・延焼による火災被害

ライフラインの機能停止

交通手段の寸断、停止

地震発生時の行動

地震から身を守るポイントはいつ地震が発生してもあわてないように、日頃から地震時の備えをしておくことです。ここに示す地震時の行動を参考に、どのような行動をとるべきか、覚えておきましょう。

地震発生　身の安全を確保！

緊急地震速報!

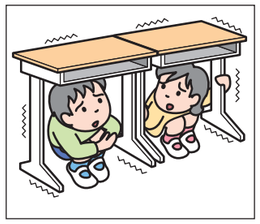
寝ていたら

布団や枕で頭を守り、家具が倒れてこないところに身を伏せましょう。

テレビを見ていたら

重い家具の近く、電灯の真下等から離れましょう。

仕事・授業中なら

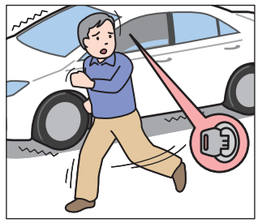


本棚やロッカーが倒れたり、窓ガラスが割れたりするので注意しましょう。

電車に乗っていたら

吊革や手すりにつかまり、体が放り出されないようにしましょう。

車の運転中なら



道路の左に寄せて止め、ドアはロックせずにキーを差したまま避難しましょう。

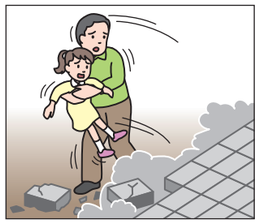
買い物中なら

買い物カゴや鞄で頭を守り、店員の指示に従いましょう。

ビルのそばを歩いていたら

ガラスの破片、看板等に注意しながら近くの安全な場所に避難しましょう。

住宅地を歩いていたら



ブロック塀・門柱の転倒、ガラス・瓦の落下、切れた電線に注意しましょう。

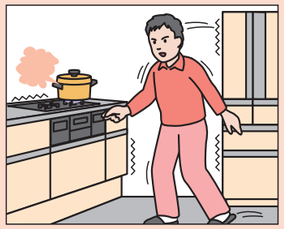
エレベーターの中にいたら

すべての階のボタンを押し、動かないなら非常用連絡ボタンを押しましょう。

1分～2分
火の元・家族の安全を確認

揺れがおさまったら家族で声を掛け合い、お互いの安全確認！

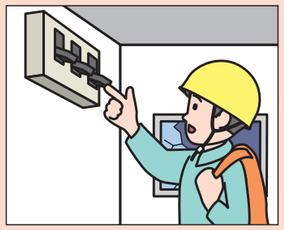
火の元の確認・初期消火



靴を履く
（ガラスの破片等から足を守ります）

出口を確保

非常持出品の用意を！
ガスの元栓・電気のブレーカーを切る！



3分～10分
正しい情報をつかむ

大きな地震の後には、引き続き揺れが発生する可能性があります！

テレビ・ラジオ等で正しい情報を確認！

テレビ・ラジオ

NHK 等のデータ放送や、ラジオ各局で地域の災害情報が流れます。

屋外拡声器・広報車

屋外拡声器や広報車等で緊急情報をお知らせします。

緊急速報メール

避難勧告発令等緊急度の高い情報を、町内に存在する携帯電話に一斉送信します。

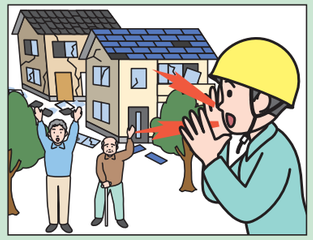
メール配信システム

あらかじめ登録をした携帯電話等へ、緊急情報等の内容を配信します。

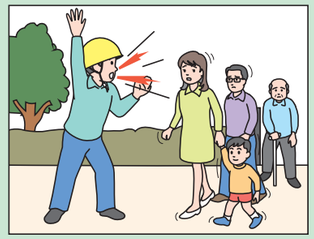
10分～数時間
状況に応じて冷静に対応

家屋倒壊の危険等があれば、避難！

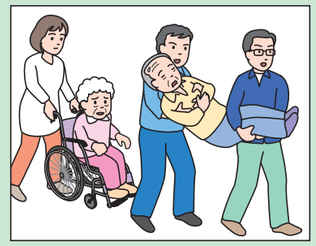
隣、近所の安否確認



各町内会、自治会で安否確認を

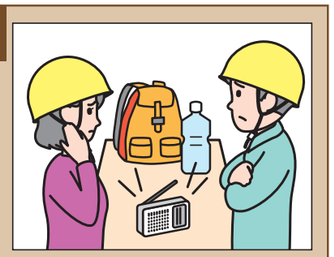


地域ぐるみで協力し合って救急、救護、初期消火

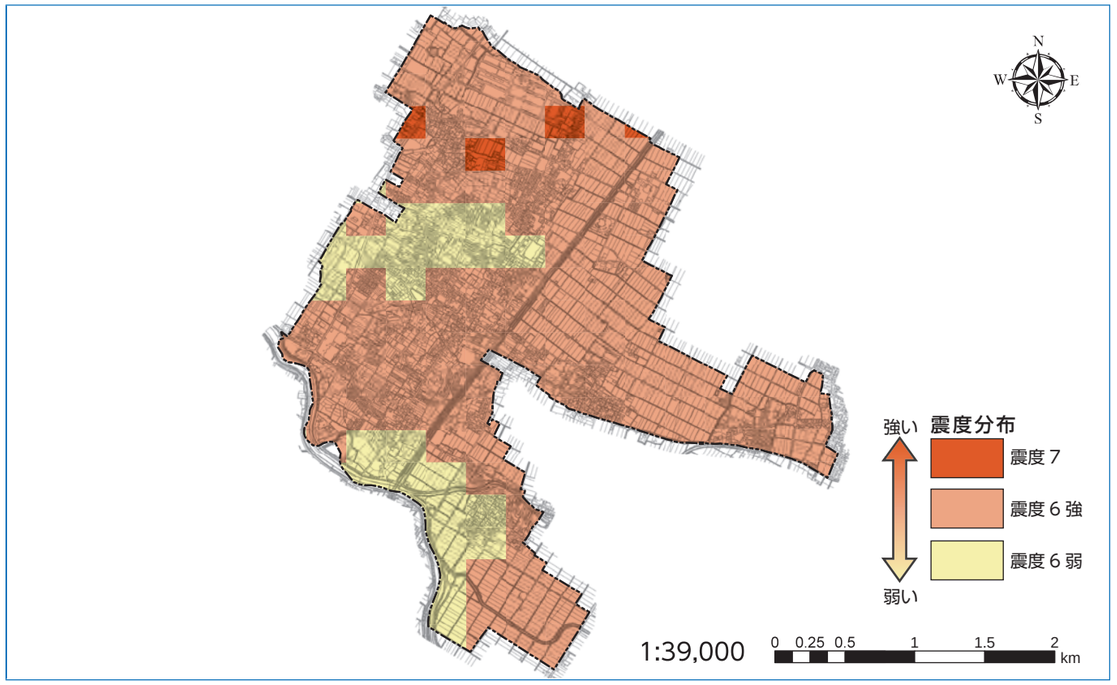


余震に注意

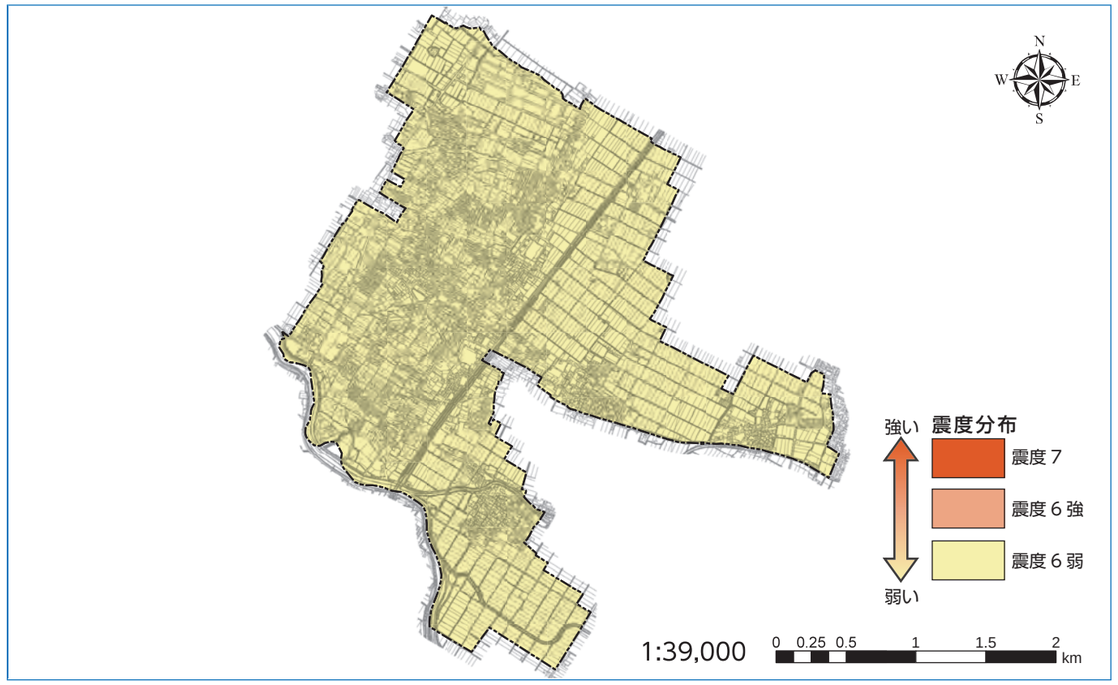
「地震がおさまったからもう大丈夫！」と安心せずに、二次災害に備えることが大切です。また、大地震の後は数カ月間、強い余震が起こることもあるので油断せずに行動しましょう。



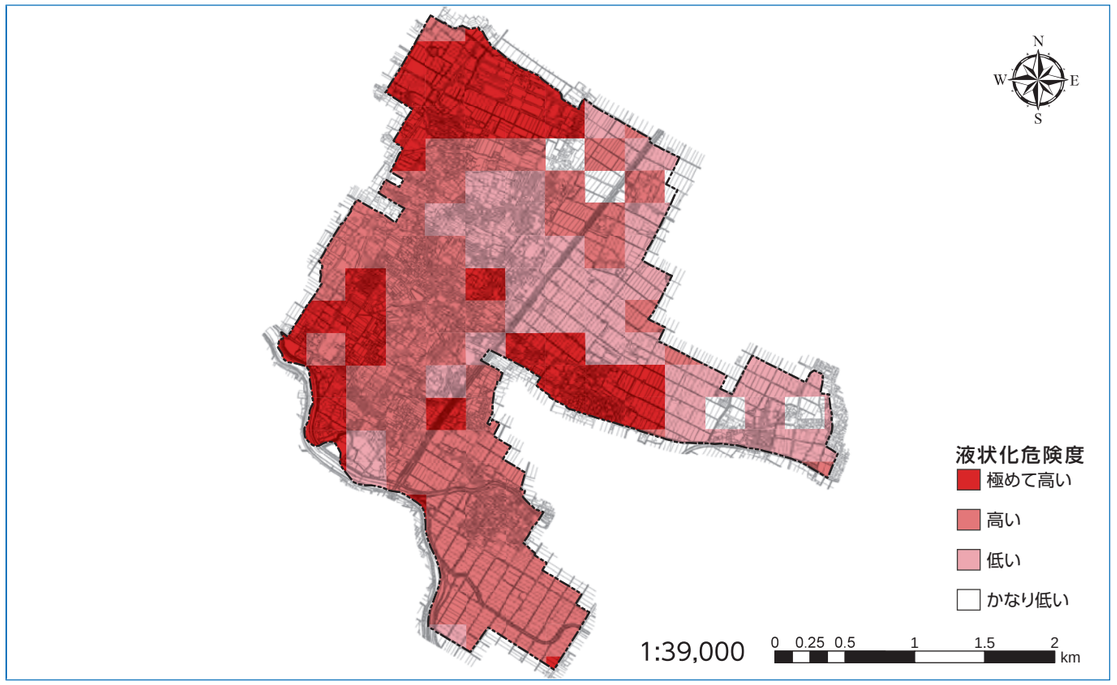
鈴鹿西縁断層帯（震度分布）



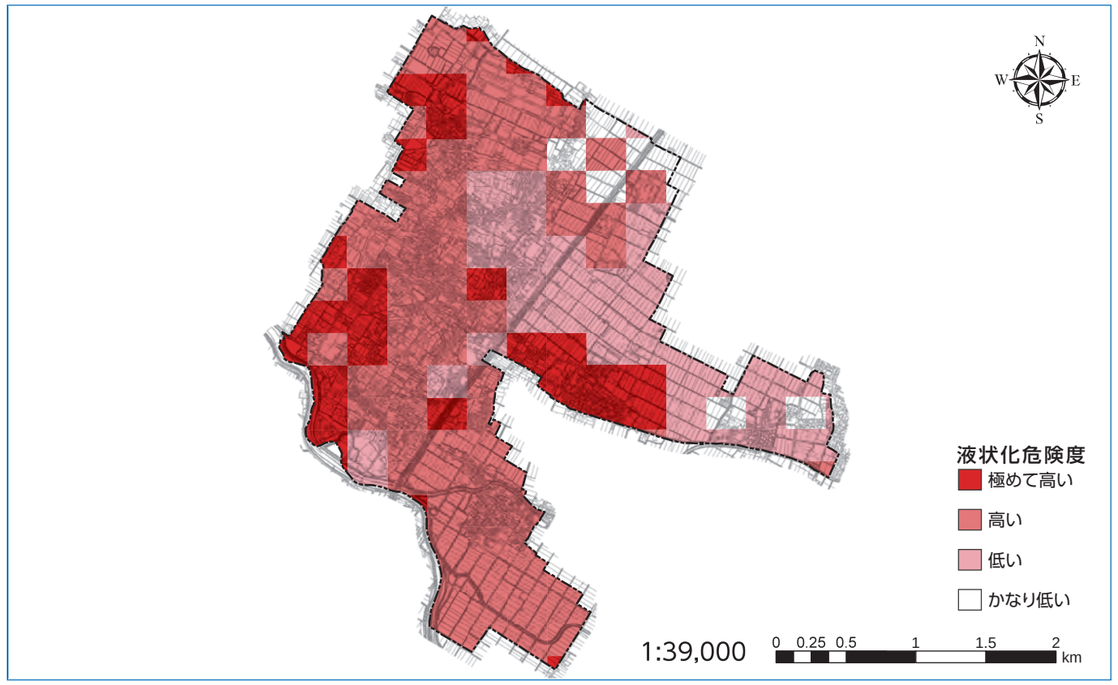
南海トラフ巨大地震（震度分布）



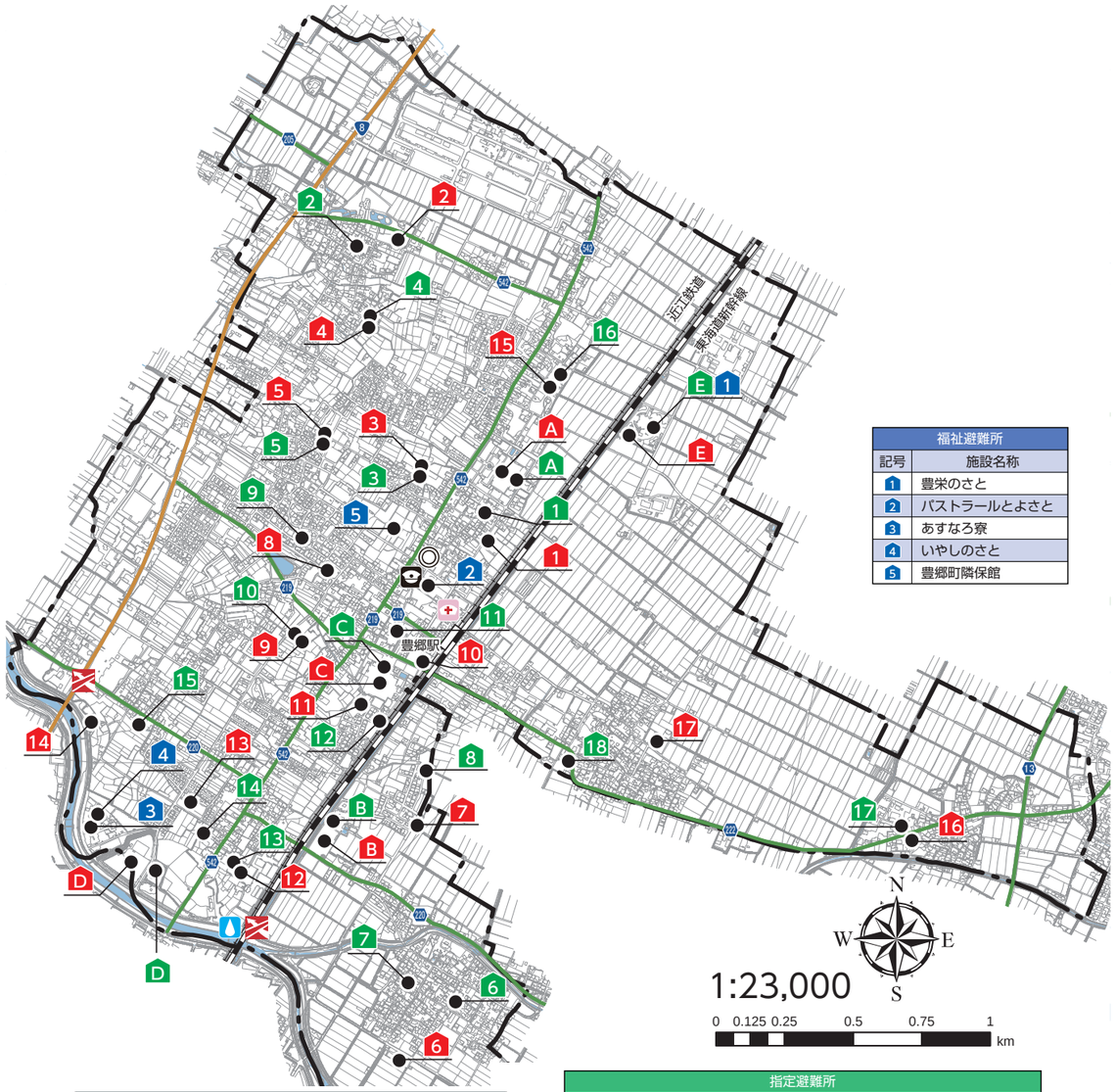
鈴鹿西縁断層帯（液状化危険度分布）



南海トラフ巨大地震（液状化危険度分布）



地震時の避難場所



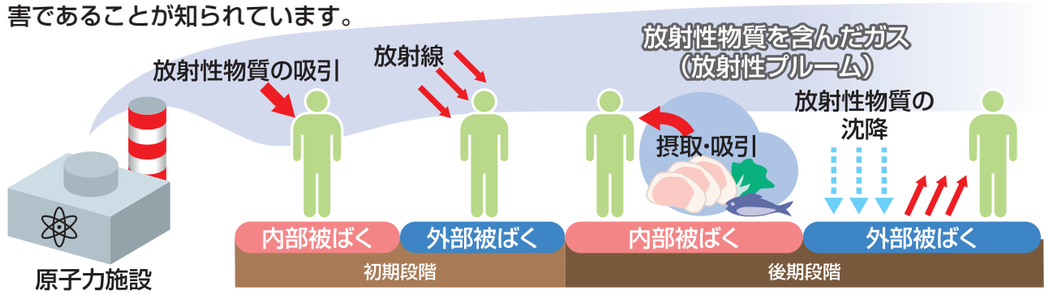
福祉避難所	
記号	施設名称
1	豊栄のさと
2	パストラールとよさと
3	あすなろ寮
4	いやしのさと
5	豊郷町隣保館

指定緊急避難場所				
	一時避難場所		広域避難場所	
自治会名	記号	施設名称	記号	施設名称
石畑	1	ゆめひろば	A	豊郷小学校グラウンド
安食西	2	安食西草の根ひろば		
安食南	3	瓜生津の館グラウンド		
	4	やりこの館グラウンド		
三ツ池	5	三ツ池教育集会所グラウンド		
吉田	6	吉田草の根ひろば	B	日栄小学校グラウンド
日栄	7	日栄子ども公園		
大町	8	どんぐり公園		
高野瀬	9	高野瀬草の根ひろば	C	豊日中学校グラウンド
八目	10	八目区民ひろば		
杉	11	杉草の根ひろば		
上枝	12	上枝草の根ひろば		
下枝	13	下枝草の根ひろば	D	豊郷スポーツ公園多目的運動場
沢	14	沢草の根ひろば		
四十九院	15	四十九院グラウンド		
雨降野	16	雨降野草の根ひろば	E	豊栄のさと駐車場
八町	17	八町草の根ひろば		

指定避難所					
	一時避難所		広域避難所		
自治会名	記号	施設名称	記号	施設名称	連絡先
石畑	1	那須公民館	A	豊郷小学校	35-2010
安食西	2	安食西公民館			
安食南	3	瓜生津の館			
	4	やりこの館			
三ツ池	5	三ツ池教育集会所			
吉田	6	吉田公民館	B	日栄小学校	35-2071
	7	正法寺			
日栄	8	日栄草の根集会所			
大町	9	大町教育集会所	C	豊日中学校	35-2004
高野瀬	10	高野瀬憩いの里公民館			
八目	11	八目公民館			
杉	12	杉草の根集会所			
上枝	13	しらふじの館	D	町民体育館	35-2550
下枝	14	下枝草の根ハウス			
沢	15	沢公民館			
四十九院	16	ふれあい49公民館	E	豊栄のさと	35-8010
雨降野	17	雨降野多目的集会所			
八町	18	八町公民館			

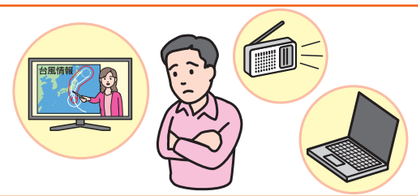
町が想定する原子力災害とは

事故等により、原子力施設から放射性物質または放射線が異常な水準で施設外へ放出される事態を想定しています。放射線は、ある一定量を超える高い線量で浴びる（被ばくする）と人体に有害であることが知られています。

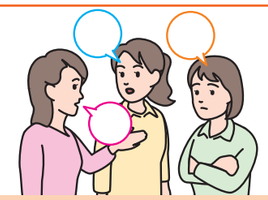


原子力災害が起きた時は

状況が確認できるまでは、屋内で待機してください。



防災行政無線、テレビ・ラジオ等から
正確な情報をつかんでください。



町からの広報内容をご近所と確認しましょう。

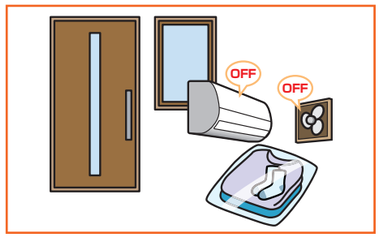
防災活動の妨げになるため、町や防災関連機関
への電話でのお問い合わせはお控えください。

デマに惑わされないようにしましょう。

屋内退避の指示が出た時は

事故の状況の進展により、「屋内退避」が指示されることがあります。その時は、すぐに自宅等の屋内に入り、次の事項を守って、被ばくや放射性物質による汚染の防止に努めてください。なお、コンクリート建物は、木造家屋よりも放射線の遮へい効果が大きく、一般に気密性も高いので、被ばくに対する防護効果が高いと考えられています。

1. ドアや窓を全部閉めましょう。
2. 換気扇やエアコン等、外部との空気の流れを止めましょう。
3. 外から帰ってきた人は顔や手を洗い、衣服を着替え、ビニール袋に入れましょう。
4. テレビやラジオ等の新しい情報を待ちましょう。



そのほか、災害の状況から屋内退避では不十分と判断された場合は、避難や一時移転を指示されることがあります。また、必要に応じて、食べ物や飲み物の摂取を制限されることがあります。